



身近な町の問題や出来事をご紹介します

たっぴく



◀風土記を映像化したものは珍しく、貴重な資料です。

DVD「出雲国風土記探訪」図書館で貸し出しています

やすぎどじょこテレビを運営する山陰ケーブルビジョン㈱から、「出雲国風土記探訪20枚セット」8巻の寄贈を受けました。このDVDは、同社の番組内で5年間にわたり放送されたものをまとめたもの。全57番組を19枚のDVDにまとめ、藤岡大拙さんの講演会も収録。このうち第二巻では、飯梨郷や野城驛などが登場しています。

寄贈を受けたDVDは、市内5つの中学校で学校教育に活用するほか、市立図書館（室）3館で貸し出しをすることにしています。

交通安全子供自転車県大会

母里小学校が準優勝

小学生に交通ルールとマナーを身につけてもらおうと「交通安全子供自転車島根県大会」が7月7日、湖遊館（出雲市）で開催され、市代表の母里小学校が参加しました。この大会は、交通法規テストと実技テスト（安全・技能走行）があり、4人一組で得点を競います。

大会前には猛練習をしたという母里小学校チームは、団体の部で見事準優勝に。練習の成果を出し切ったメンバーは、互いの頑張りを称えあっていました。



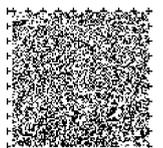
◀土砂が流れ歓声を上げる子どもたち

荒島でかんな流し復活

ト蔵新田を含む「たたら製鉄」に関する文化財群の日本遺産認定を記念し、荒島地区活性化推進協議会ら3団体が8月5日、新田を造成した当時の土砂運搬方法を古代出雲王陵の丘公園で再現しました。

ト蔵新田は、江戸時代中期に沼地であった日白池を、ト蔵孫三郎が16年の歳月をかけて5畝の水田に造成したもので、かんな流し工法を使った土砂運搬方法が用いられました。

この日は、荒島小学校4年生の児童ら18人も参加。斜面に設置した12.7メートルの樋に乗せた土砂が、水で流れる様子を見た、同小・足立唯佳さんは「大きな石も水の力で勢いよく流れていった。考えた昔の人はすごい」と驚いていました。





◀県大会では、安来レイダース（11人）が2年連続6回目の優勝。島田クラブ（11人）は初優勝。赤江レイダース（10人）は3位でした。

小学生バレーボールの3チームが島根県代表に

8月に開催される全日本バレーボール小学生全国大会（東京都）と同中国大会（山口県）に市内の3チームが県代表として出場することになりました。7月27日には、出場する選手の内32人が安来市長を訪問し決意を述べました。

全国大会に出場するのは、男子の部「安来レイ

ダース」と男女混合の部「島田クラブ」。中国大会に出場するのは、女子の部「赤江レイダース」。それぞれ県大会を勝ち抜き、切符を手に入れました。

近藤市長は「安来はバレーボールの盛んなまちです。誇りを持って戦ってほしい」と激励しました。

赤江・島田・社日・十神交流センターの合同交流事業「夏休み工作チャレンジ隊」が7月29日、社日交流センターで行われました。

当日、子どもたちは班ごとに社日小学校周辺を樹木散策。もりふれ倶楽部の野々村俊成さんから説明を聞きながら、においをかいだり口に含んだりして、五感を使って身近な自然に親しみました。散策後は、葉や木の実を使った工作体験。十神小4年生山口真裕さんは「この実がしっぽに見えた」とヤシャブシの実を使い、リスを製作しました。

参加した4館の子どもたちは、数年後に中学校で顔を合わせることもあり、事業を通して打ち解け、仲良く話す姿が多く見られました。

4館合同で交流事業



(上) 樹木散策の様子
(右) 山口さんのつくったリス



▲あいさつを述べる安来市防犯協会会長の近藤市長

考えよう！スマホのルール作り

子どもたちを取り巻くインターネットの現状を把握し、犯罪抑止や健全育成を推進するため、「インターネット子ども安全集会」（主催・安来市防犯協会）が7月31日、伯太中央交流センターで開かれました。

会では、ネットの過度利用は、生活リズムの乱れ、コミュニケーション力の低下、成績不振などを引き起こすことが報告されました。講演をした島根県警察教育サイバーセキュリティアドバイザー長谷川陽子氏は、「家庭でルールを決めたり、フィルタリングをかけたりして、親が危機管理を持ち、成長に合わせて適切に使用させることが大切だ」と述べました。

最後は、出席者で「ネットトラブルから子どもを守る宣言」を読み上げ、各団体や地域で情報を共有し、連携して取り組むことを誓いました。

